

情報通信技術（ICT）の利活用支援の必要性

平成21年3月20日

奥出雲町

総務省は「デジタル・ディバイドの解消」を目標に掲げ、ブロードバンドの全国整備に向けた取り組みを強力に推進しております。その結果、情報通信インフラの整備が進んでいる中で、今後は、情報通信技術（ICT）の利活用も重要な課題となります。

ICTは距離的・時間的なハンデを克服する効果があり、ICTを上手に利活用すれば、例えば、都市部や地方といった地理的な区分けはなくなります。これは、地方でありながら常に日本全国を市場とした活動が可能であるということであり、地域経済の活性化には欠かせない要素です。また、中山間・過疎地域においても、少子高齢化等が進む中で、地域の課題（介護・医療費の増大、地域の活性化等）を解消するために、ICTの利活用は大変有効です。

実際に、奥出雲町では、平成20年度から町内全戸に敷設されているFTTH網を活用したテレビ電話による高齢者の生活サポート事業に取り組んでおりますが、民生児童委員を中心に高齢者にも評判が良く、全国の自治体からも導入を前提に問い合わせが多数寄せられているところです。なお、奥出雲町の高齢者生活サポート事業の取り組みについては、以下から概要がご覧いただけます（ストーリーミング）ので、ご参照いただければ幸いです。

http://122.215.70.19/OKU_NEWS.WMV

これは一例ではありますが、ICTの利活用は新たなビジネスチャンスを生み、地域経済の活性化などに対して非常に高い効果を有しています。また、ICTは環境にも優しい技術です。

しかしながら、現状では、ICTの利活用促進に対する支援策は十分とは言えませんので、ICT利活用に対して、既存の支援を継続させるとともに、新たな支援策の創設も希望しております。

以上